

豚・牛の特性に合わせた堆肥化資材

# BMレスキュー



トヨタ自動車株式会社  
による開発

※旧「豚レスキュー」「モーレスキュー」の統合商品



豚糞堆肥化時の悪臭を  
従来の約 **90%** 低減。

豚糞の臭気は主に低級脂肪酸類とアンモニアです。  
「BMレスキュー」は低級脂肪酸類を微生物(※)で分解、  
アンモニアの揮散も抑制して堆肥化時の臭気を最大で  
従来の90%程度低減します。



少ない空気でも牛糞の発酵促進 &  
悪臭抑制 & 良質堆肥。

BMレスキューに含まれる微生物(TAB7株)は肉牛糞  
に含まれる硝酸イオンを酵素の代わりに利用して活動。  
空気の少ない環境下でも堆肥化を促進させるとともに、  
堆肥化時の悪臭も軽減します。

※微生物(TAB7株)は2014年3月  
トヨタ自動車にて特許取得済。

- ・毒性・危険性なし(バイオセーフティレベル1)
- ・低級脂肪酸類と難分解性有機物を分解
- ・遺伝子組み換え微生物ではありません
- ・活動温度は20~60℃

## においを抑えながら効率の良い堆肥づくりを実現

「BMレスキュー」を実際に農場で使用し、不使用時と比較した結果、下記の数値が得られました。

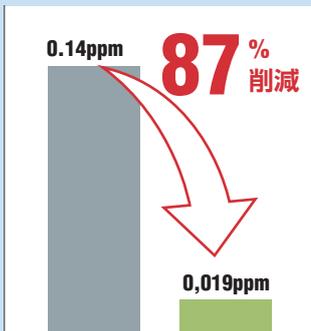
### 効果



養豚場での堆肥化開始から1週間の臭気分析結果

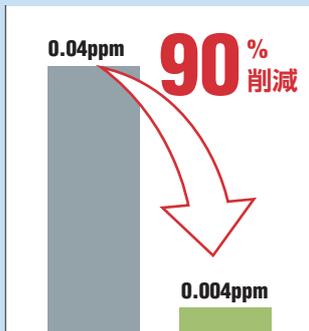
低級脂肪酸類 酪酸 プロピオン酸 吉草酸 イソ吉草酸 を**60~90%**低減!

● 酪酸



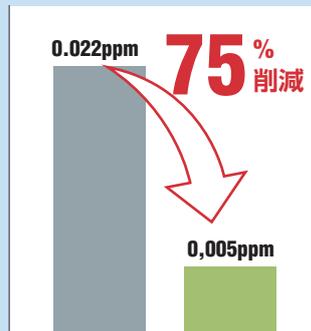
不使用時 BMレスキュー

● プロピオン酸



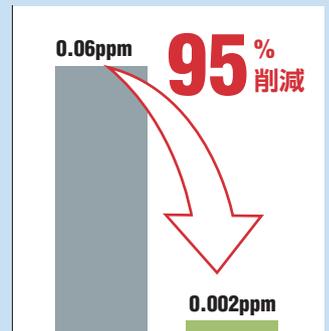
不使用時 BMレスキュー

● 吉草酸



不使用時 BMレスキュー

● イソ吉草酸



不使用時 BMレスキュー



肉牛農場での堆肥化開始から40日目の堆肥分析結果

発芽率向上 & 臭気指数低減!

	水分	灰分	pH	窒素	リン酸	カリ	C/N比	発芽率	臭気指数
BMレスキュー	42.0	26.1	9.5	2.5	2.9	6.8	15.3	64	26
不使用時	46.8	19.0	6.7	3.0	3.7	4.8	13.7	0	30

## 使用方法

「BMレスキュー」は、下記の使用量および使用上のポイントに注意してお使いください。

使用量	約10m <sup>3</sup> の豚糞・牛糞に対して1袋を添加
堆肥化形式	堆肥化形式によらず、常に10m <sup>3</sup> に対して1袋を使用
堆肥化形式例	1. レーン式（直線、エンドレス） 2. ピット式 3. 縦型コンポスト

### 使用上のポイント

水分調整、適当な酸素供給により確実に温度上昇させてください。

- 温度上昇させないと十分な消臭効果を得ることができない場合もあります。
- 豚糞・牛糞性状により、発酵による温度上昇が出来ていない農場も多々あります。
- 本製品の効果は堆肥化自体の改善ではないため、この部分は農家様による改善が必要となります。

## 実際の使用例

### ● ピット形式

- 1 豚糞・牛糞10m<sup>3</sup>に対して、1袋の「BMレスキュー」を散布  
(生糞とオガ粉等の副資材とを混合する際に、「BMレスキュー」も同時に混合)

- 2 ピット式発酵槽に投入して発酵処理



### ● レーン形式

- 1 直線レーン・エンドスレーンともに、  
発酵に適当な水分調整後レーン内へ糞を投入

- 2 上部に「BMレスキュー」を散布して、攪拌装置にて混合  
(散布量は、おおよそその投入量10m<sup>3</sup>に対して1袋を散布)



## 商品概要

堆肥舎をレスキュー



BMレスキュー 6.3kg/袋

- ① 微生物 (Bacillus 属細菌: TAB7 株)
- ② 副資材 パーライト等

微生物 (TAB7 株) について

1. 微生物の探索  
日本各地 (約 100 箇所の農場) の堆肥化サンプル中からの  
低級脂肪酸分解微生物の探索
2. 微生物の同定  
Bacillus 属に属する好熱細菌と特定 (TAB7 株)  
2014年3月トヨタ自動車にて特許取得済み



BMレスキュー  
ホームページ